

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	口蹄疫等家畜伝染病に対応した獣医師育成環境整備事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	専門教育課		専門教育課長 内藤 敏也		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」 「民主党マニフェスト2010」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民の健康・生活の安心を確保するため、臨床教育プログラムの開発や教育環境の整備に必要な経費を支援し、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成強化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	口蹄疫対策等を担う産業動物獣医師等の養成強化を図るため、下記の取組を支援。 ・産業動物診療分野や家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野における臨床実習等の充実・強化を図るため、必要な実習用機器(大型動物用診療車、遺伝子等解析システムなど)の整備 ・産業動物診療分野や家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野において、全国の獣医系大学の学生の实習機会の確保や、教育水準の向上を図るため、全国的な実習システムを構築(補助金:定額補助)							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	31	28	25	
		繰越し等	-	-240	0	0		
		計	-	0	240	0		
	執行額		-	※1 0	262			
	執行率(%)		-	0	96.7%			
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度
獣医系大学と外部専門機関との全国的な実習システムに参加する獣医系大学の割合		成果実績	%	-	0	0	100	
		達成度	%	-	-	-		
成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(26年度)	
獣医系大学と外部専門機関との全国的な実習システムを用いた臨床実習等に参加する学生数		成果実績	人	-	-	9	60	
		達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	選定大学数		活動実績	件	-	※1 -	27	-
			(当初見込み)	-	(25)	(2)	(2)	
単位当たりコスト	9,667(千円/件)		算出根拠	単位当たりコスト＝平成23年度支出額(261,713,579円)÷選定大学数(27件)				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	大学改革推進等補助金		27百万円	24百万円	○対象経費(補助単価)の見直しによる減			
	大学改革推進等補助金事務費		1百万円	1百万円	費目 24年度当初予算額 25年度概算要求額			
					物品費 4百万円 4百万円			
					人件費・謝金 18百万円 16百万円			
					旅費 2百万円 2百万円			
					その他 3百万円 3百万円			
	計		28百万円	25百万円	計 27百万円 24百万円 (※単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない)			

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	近年の口蹄疫や鳥インフルエンザ、アジアにおける動物由来感染症等の発生を受け、国民の健康・生活を守るため現場の最前線で家畜診療や防疫等に従事する産業動物獣医師や公務員獣医師に対する社会的ニーズが質・量ともに高まっている。 農林水産省「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針」(平成22年8月)、「口蹄疫対策検証委員会」(平成22年11月)等においても、産業動物獣医師・公務員獣医師の養成・確保、獣医系大学における産業動物等に関する臨床実習の充実・強化が提言等されていることから、国において支援すべき優先度の高い事業である。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、公募を行い有識者からなる選定委員会で選定を行うことで競争性を確保している。また、経費の執行に関して、事業年度ごとに各大学から提出される実績報告書等により、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 なお、1大学あたりのコストの縮減(平成22年度:15百万円→平成23年度:13.5百万円)にも努めている。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業で整備された実習用機器により、獣医系大学の臨床実習等が充実・強化されるなど、十分に活用されている。 また、全国的実習システム(実習の手引きの作成、学生の受入機関の開拓・確保等)の構築により、獣医系全16大学の参加と外部高度専門機関の連携による、全国の獣医系学生が産業動物臨床・感染症対策に関する高度で実践的な教育を受ける機会が確保されるなど、実効性の高い事業である。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	・本事業は、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成を図るため、有識者等による選定委員会において平成22年度に実習用機器整備のため25件、平成23年度に全国的実習システムを構築するため2件の取組を選定した。 ・本事業で整備した実習用機器(16大学107件)によって、各大学の臨床実習等の充実・強化が図られた。 ・構築した全国的実習システムにより、各大学の産業動物臨床・感染症対策に関する実践的な教育の充実・強化が図られ、産業動物獣医師や公務員獣医師の現場の最前線を教育カリキュラムに組み込む動きを加速している。 ・今後は、限られた予算の範囲内で、各実習プログラムの受入人数の増大、新たな高度外部専門機関の開拓など、いかに実習先を開拓・確保し、多くの学生に実習機会を提供できるか検討を行う。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行い、事業の適切な実施に努めている。			
予算監視・効率化チームの所見				
一部改善	1. 事業評価の観点：本事業は、臨床教育プログラムの開発や教育環境の整備に必要な経費を支援し、口蹄疫対策を担う産業動物獣医師等の養成強化を図る事業であり、予算執行状況の観点から検証を行う。 2. 所見：本事業は、事業の内容を精査し、事業の効率化等に努め、平成25年度概算要求においても、積算単価を再検証するなど、引き続きコスト削減に努めるべきである。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)				
縮減	事業実施にあたり、対象経費(補助単価)等を絞り込むことで積算単価を見直し、概算要求に▲2.7百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
※1 平成22年度中に外部委員会の審査等を経て25件の取組を選定したが、23年度へ全額繰越したため、執行額及び活動実績は「0」としている。				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	0150	

文部科学省
262百万円

諸謝金 0.3百万円
職員旅費 0.1百万円
委員等旅費 0.4百万円
庁費 0.2百万円
を含む

〔対象大学から提案のあった事業内容を
審査の上、支援対象とする取組みを
選定し、補助金を交付する。〕

【公募・補助】

A.国公立大学(全25大学)
231百万円

〔大学において臨床教育の充実・強化を
図るため、必要な実習用機器の整備を
行う。〕

【公募・補助】

B.国立大学(全2大学)
30百万円

〔口蹄疫対策等を担う産業動物獣医師の
養成強化を図るため、全国的な臨床実
習システムの構築を支援する。〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.北海道大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	設備備品	クラスⅡ対応安全キャビネット	7			
		病原微生物取扱い対応実験台	3			
	計		10	計		0
	B.岐阜大学			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	コーディネーター雇用等	9			
	旅費	協力大学および連携大学等との連絡調整	5			
	通信運搬	資料運搬代等	1			
	計		15	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.感染症等対策分野の参加型実習の充実強化

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	東京大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	東京農工大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	岐阜大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	山口大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	宮崎大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	大阪府立大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	酪農学園大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	北里大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	日本大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—
1	麻布大学	感染症等対策分野の参加型実習の充実・強化	10	—	—

B.全国の実習システムの構築

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岐阜大学	産業動物診療分野における全国的臨床実習システムの構築	15	—	—
1	東京大学	家畜感染症・人獣共通感染症等対策分野における全国の実習システムの構築	15	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					